第三の影武者（1963）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 104分
初公開日 1963/04/21

【解説】
南条範夫の同名小説を「新選組始末記」の星川清司が脚色し「暗黒街最後の日」の井上梅次が監督した時代劇。
一国一城の主を夢見る二宮杏之助は、三谷城城主の池本安高と瓜二つなことから、三番目の影武者として召し抱えられる。三ヶ月におよぶ厳しい訓練の末、杏之助は側室小荻と床をともにするまでになっていた。合戦の日、安高が流れ矢により左眼を失い、三人の影武者たちも左眼をつぶすよう命じられる。恐れをなして逃げ出した二番目の影武者は斬殺、残る二人の影武者は左眼を醜くつぶされた。さらに夜討をかけられた安高は右腕を斬り落とされてしまう。杏之助は城主を助け出すが、このままでは自分も右腕を失うことになると気づき、思いあまって安高を手にかけてしまうのだった。

【クレジット】
監督 井上梅次
原作 南条範夫 「第三の陰武者」
脚本 星川清司
撮影 本多省三
出演 市川雷蔵
高千穂ひづる
万里昌代
天知茂
小林勝彦

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.